

# 全国農業

# 新聞

NATIONAL AGRICULTURAL NEWS

2021年(令和3年)

10月号外

発行所 全国農業会議所

農業委員会ネットワーク機構

〒102-0084 東京都千代田区二番町9の8

中央労働基準協会ビル ☎03-6910-1130

©全国農業会議所2021

●ホームページ <https://www.nca.or.jp/shinbun>

お申し込みは、お近くの農業委員会へ

農業者年金  
特集

## 山梨 韮崎市農業委員会

【山梨】県北西部に位置する韮崎市。南アルプスや八ヶ岳から流れ出る清冽な

水を利用した梨北米の栽培に加え、新府、大草の桃、穂坂のブ

ドウなど丘陵部での果樹栽培も盛んな農業地帯で、農業者年金の加

一人による戸別訪問活動を展開した。こうした中、農家との対話を常日頃から心がけてきた古屋一光農業委員は、年間4件の新規加入実績を上げている。

古屋委員

は、身近な対話から信頼関係を築くなど地道な活動の中で、農業者

## 対話を常日頃から心がけ 研修や資料などで知識を習得

入推進も積極的に行われている。

柳本進会長率いる農業委員会では、月例総会での研修をはじめ、図書やパンフレット、加入推進事例集などによる年金制度の知識習得に余念が無い。

年金のメリットである①2万円から6万7千円まで月々の保険料の金額を加入者自身で決められ変更が可能なこと②いつでも脱退でき再加入が可能なこと③保険料が全額社会保険料控除の対象になること④要件次第で保険料の国庫補助が受けられること——などを伝えたいという。

柳本会長は「老後の不安を少しでも取り除くため農業者年金を普及していく」と農業委員会が農家サポートとして加入推進に取り組む意義を強調。「韮崎市はノーベル医学・生理学賞を受賞された大村智先生と高校サッカーで有名なが、農業者年金の加入推進でも全国トップクラスを目指したい」と意気込みを語る。



加入推進を話し合う柳本会長（左から2人目）と古屋委員（同3人目）、事務局職員

昨年度は3回、市の広報誌を通して制度のPRを行い、委員一人

加入推進を話し合う柳本会長（左から2人目）と古屋委員（同3人目）、事務局職員